

モニターアーム フリー可動 (EEX-LAF02シリーズ) 組立説明書

この度は、弊社製品をお求めいただきましてありがとうございました。
本製品は組立式になっておりますので、下記の内容で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

Ver. 1.0

組立説明書は大切に保管してください。

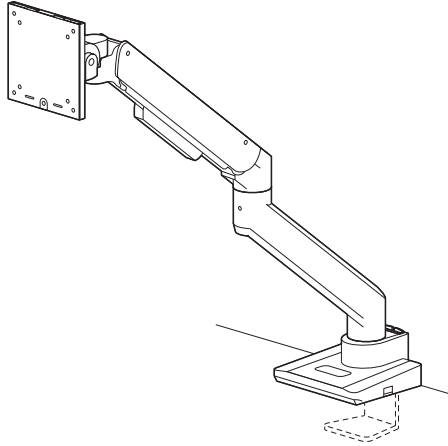
この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

<用意していただくもの>
プラスドライバー、毛布、
手袋 (組立て時のケガ等を防ぐために着用をおすすめします)

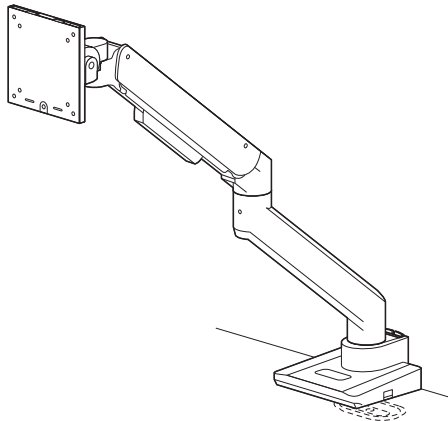
完成図

※本製品は2通りの固定ができます。
固定方法によって手順が異なります。

<クランプ固定の場合>

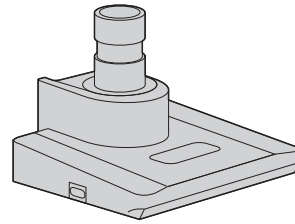


<グロメット固定の場合>

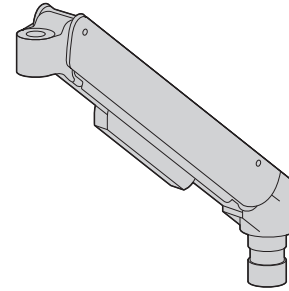


組立て部品

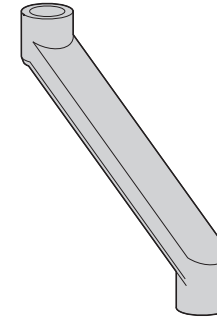
※部品の欠品や破損があった場合は、品番 (EEX-LAF02BK など) と下記の部品番号 (①~⑰) と部品名 (スペーサーI など) をお知らせください。



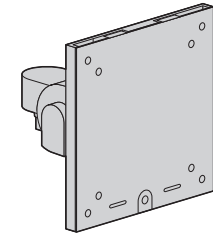
①ベースA × 1個



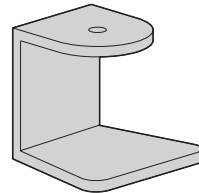
②アームB × 1本



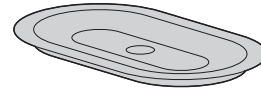
③アームC × 1本



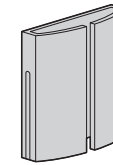
④ブラケットD × 1個



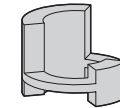
⑤クランプE × 1個



⑥プレートF × 1個



⑦ケーブルホルダーG × 1個

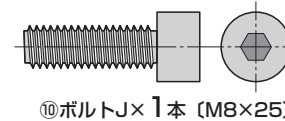


⑧金具H × 1個

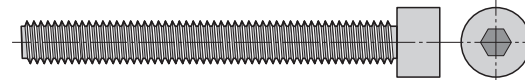


⑨スペーサーI × 1個

<使用ボルト>



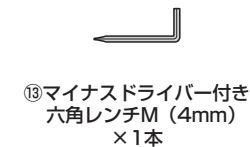
⑩ボルトJ × 1本 (M8×25)



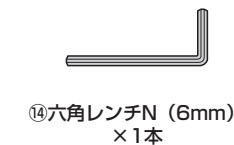
⑪ボルトK × 1本 (M8×70)



⑫ボルトL × 1本 (M8×150)



⑬マイナスドライバー付き六角レンチM (4mm) × 1本



⑭六角レンチN (6mm) × 1本

<モニター取付け用ボルトセット>



⑮ボルトM-A × 4本 (M4×12)



⑯ボルトM-B × 4本 (M5×12)

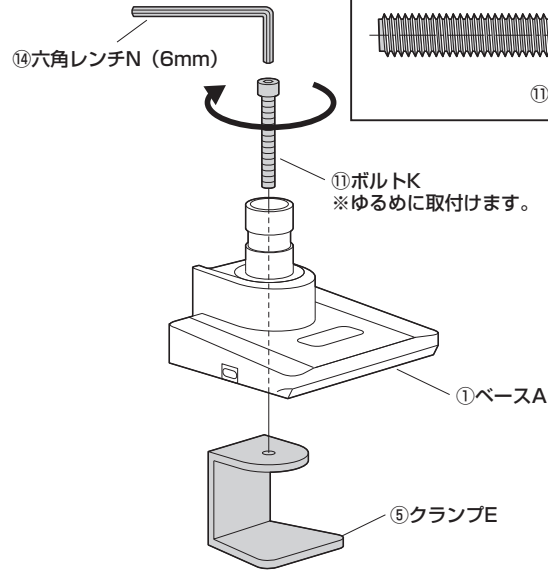


⑰ワッシャーM-C × 4枚

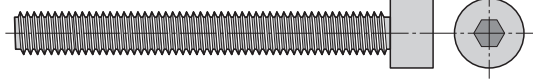
クランプ固定の場合

1. 天板にベース A を取付けます。

①ベースAにクランプEを取付けます。

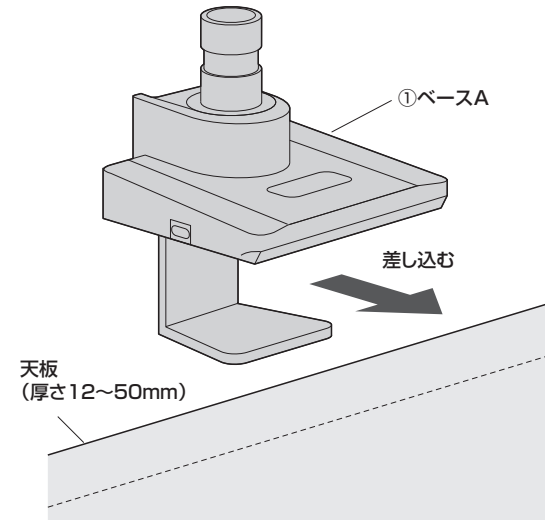


<使用ボルト>

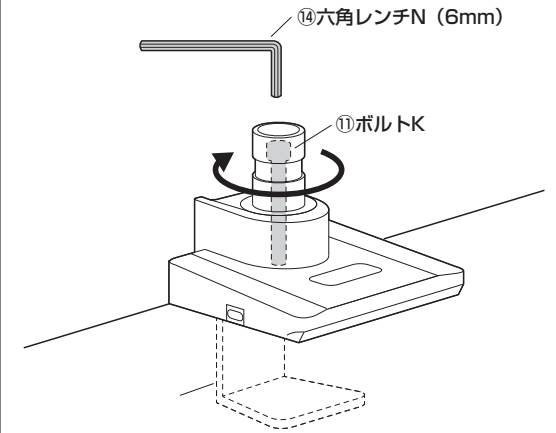


①ボルトK (M8×70)

②天板に差し込みます。



③ボルトKを締め付けて固定します。

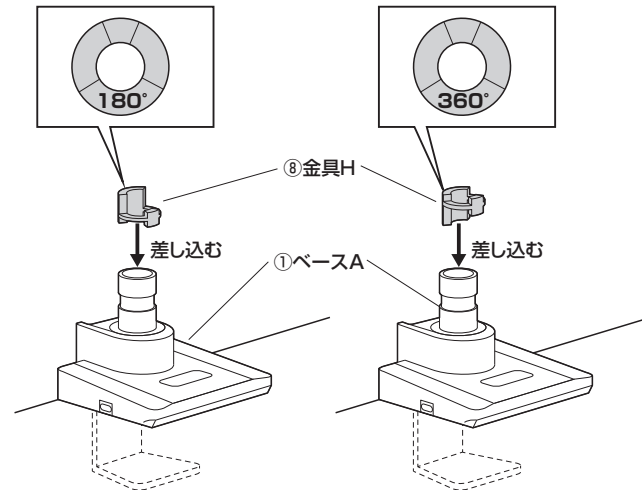


2. アーム C を取付けます。

④金具Hを差し込みます。

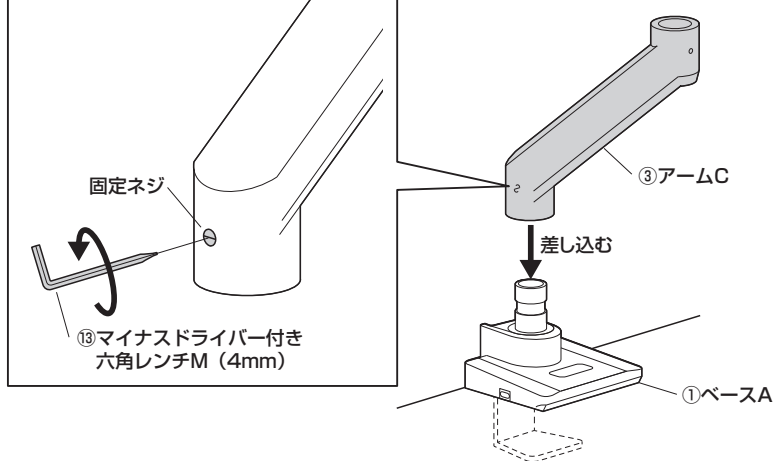
<可動範囲180°の場合>

<可動範囲360°の場合>

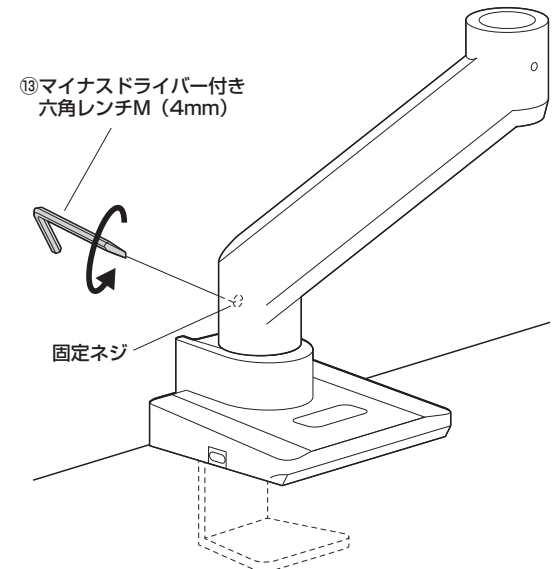


⑤アームCを差し込みます。

※あらかじめ固定ネジをゆるめます。

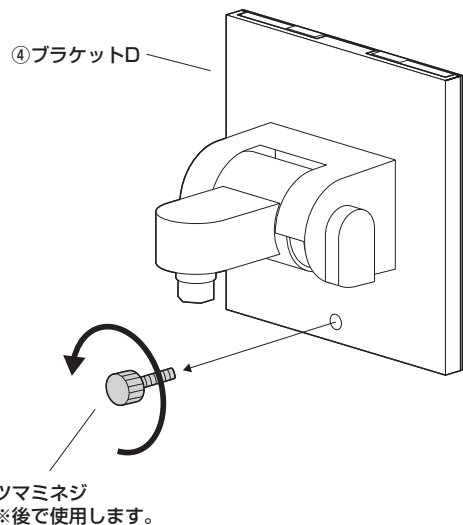


⑥固定ネジを締め付けます。

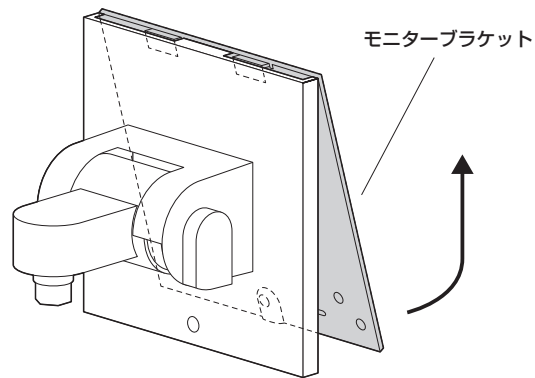


3. ブラケット D のモニターブラケットを取外します。

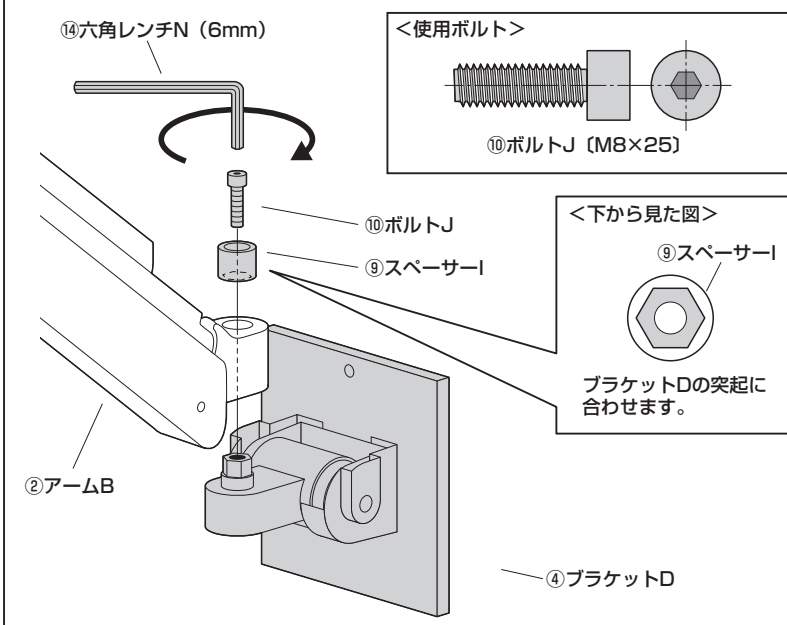
① ツマミネジを緩めて取外します。



② モニターブラケットを取外します。

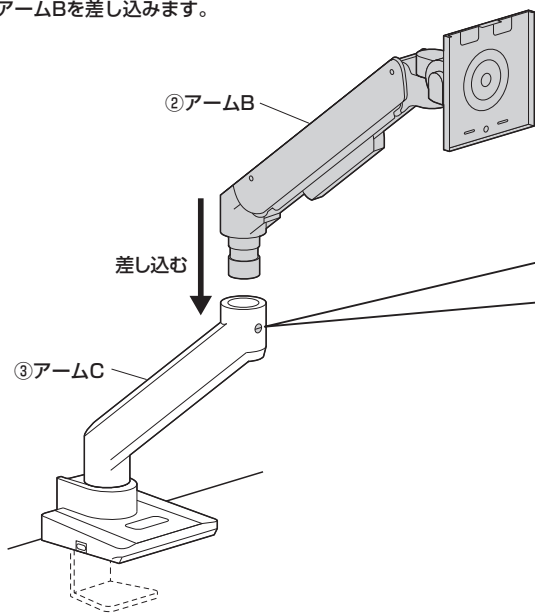


4. アーム B にブラケット D を取付けます。

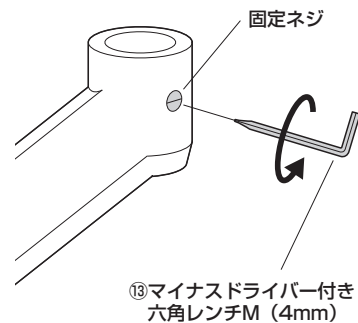


5. アーム C にアーム B を取付けます。

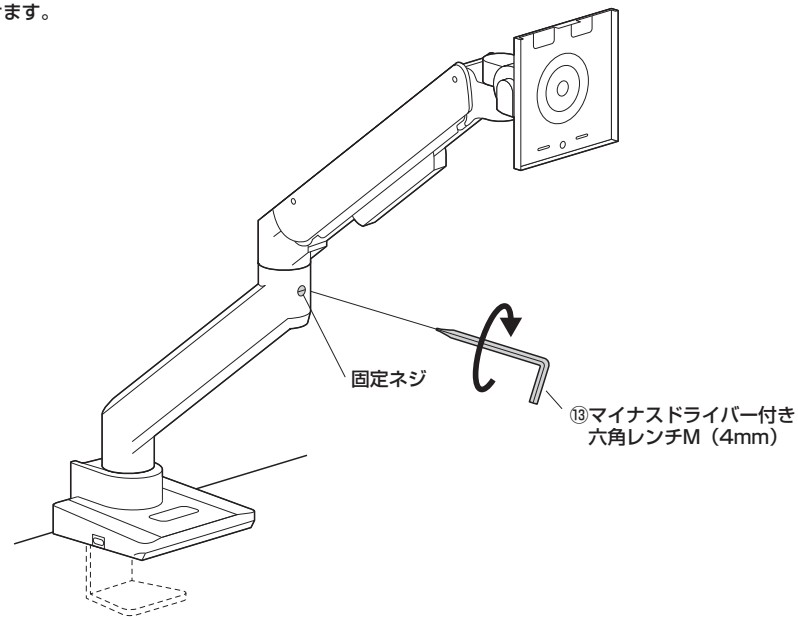
① アーム B を差し込みます。



※あらかじめ固定ネジをゆるめます。



② 固定ネジを締め付けます。



クランプ固定の場合

6. モニターにモニターブラケットを取付けます。

<注意>

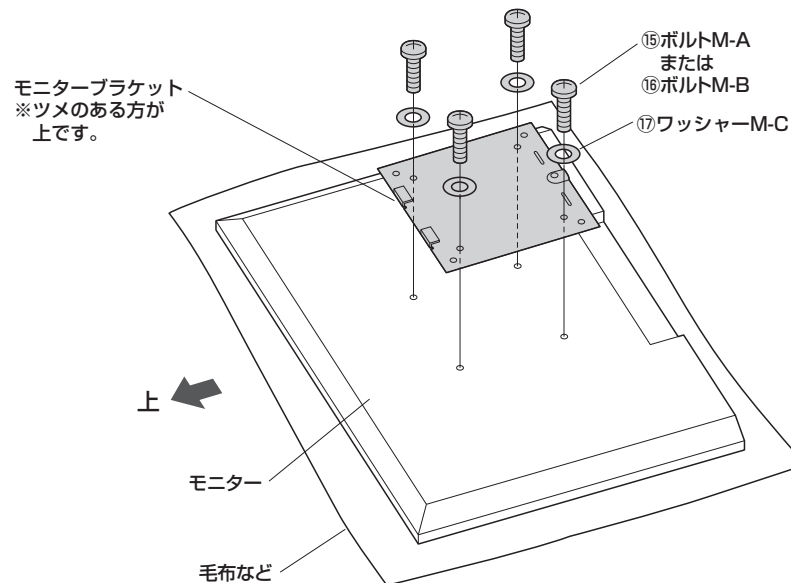
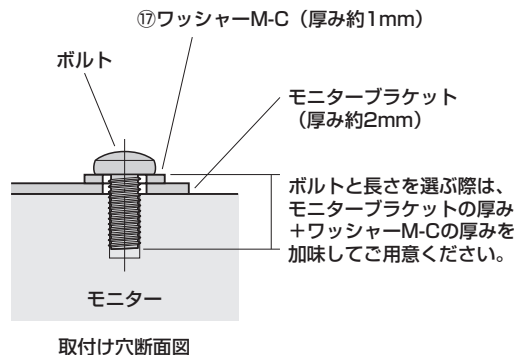
- ・毛布などを下に敷き、モニターへの傷や破損に十分ご注意ください。
- ・モニターに付属しているスタンド類は取外してください。スタンド類の取外し方法はモニターの取扱説明書をご参照ください。

<ボルトの太さ、長さに関する注意>

- ・ボルトが太すぎたり、長すぎたりするとモニターを破損する場合があります。また、ボルトが短すぎるとモニターがしっかりと固定できず脱落する恐れがあります。
- 取付けに適したボルトの太さ、長さは各モニターによって異なります。必ずモニターの取扱説明書や、メーカーへの問い合わせなどでご確認の上、適切な太さ、長さのボルトを使用してください。
- ・付属のボルトが合わない場合は、強度に十分ご注意ください。市販の適切な太さ、長さのボルトをご用意ください。

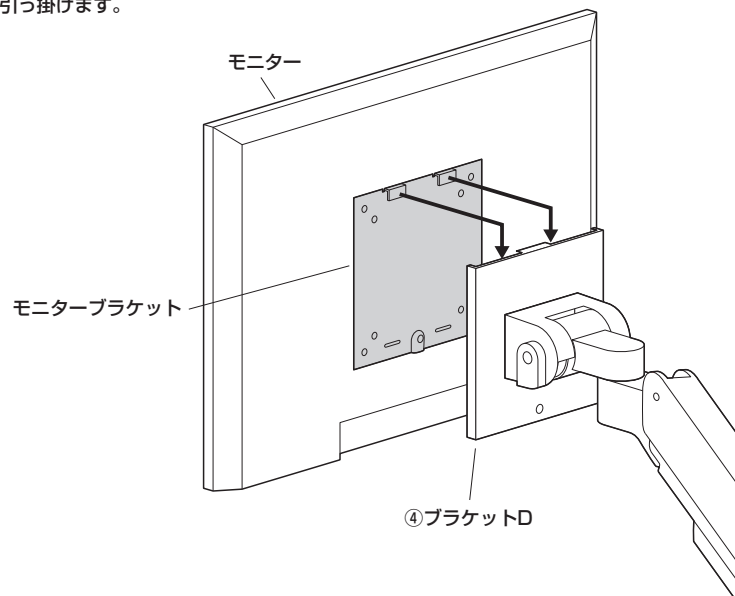
ボルト選定時の注意

※付属のボルトが最後まで締まらない、またボルトが少ししか回っていないなど、ボルトが合わない場合は、強度に十分ご注意ください。市販の適切なサイズのボルトをご用意ください。

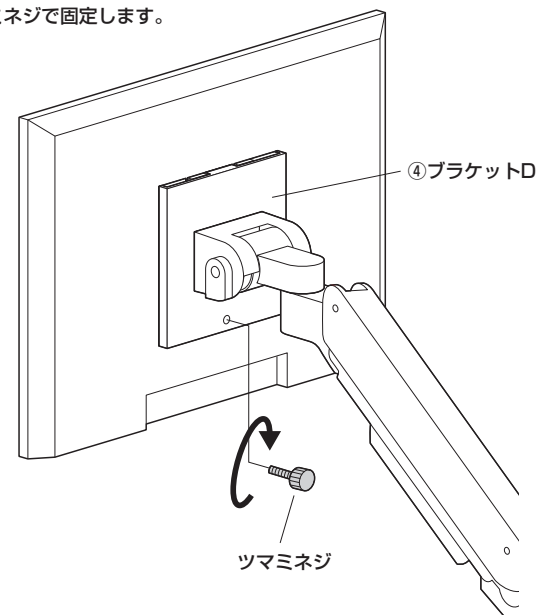


7. ブラケット D にモニターを取付けます。

①モニターを引っ掛けます。

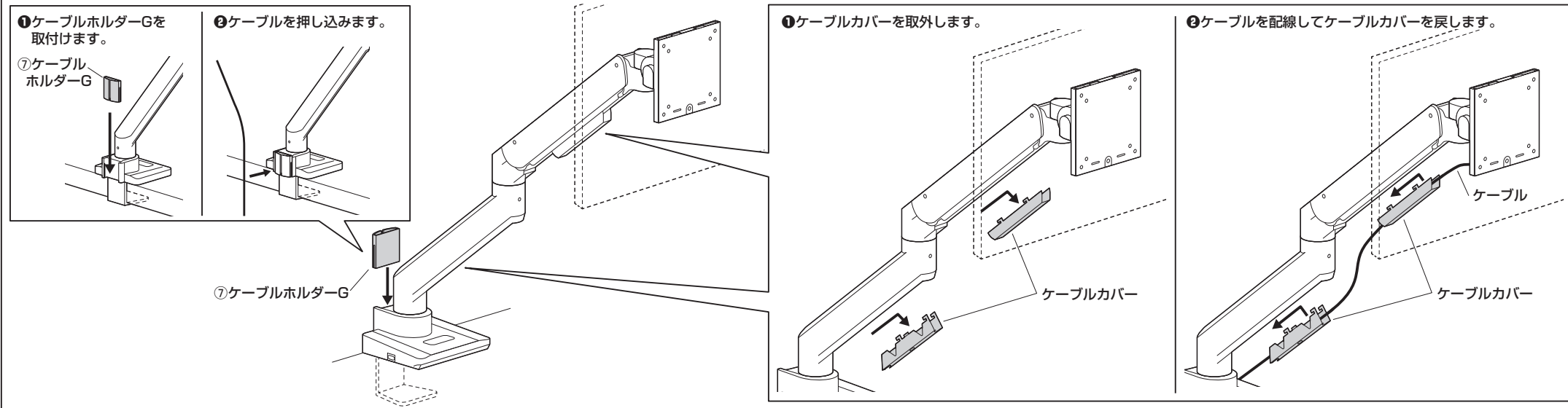


②手順3で取り外したツマミネジで固定します。



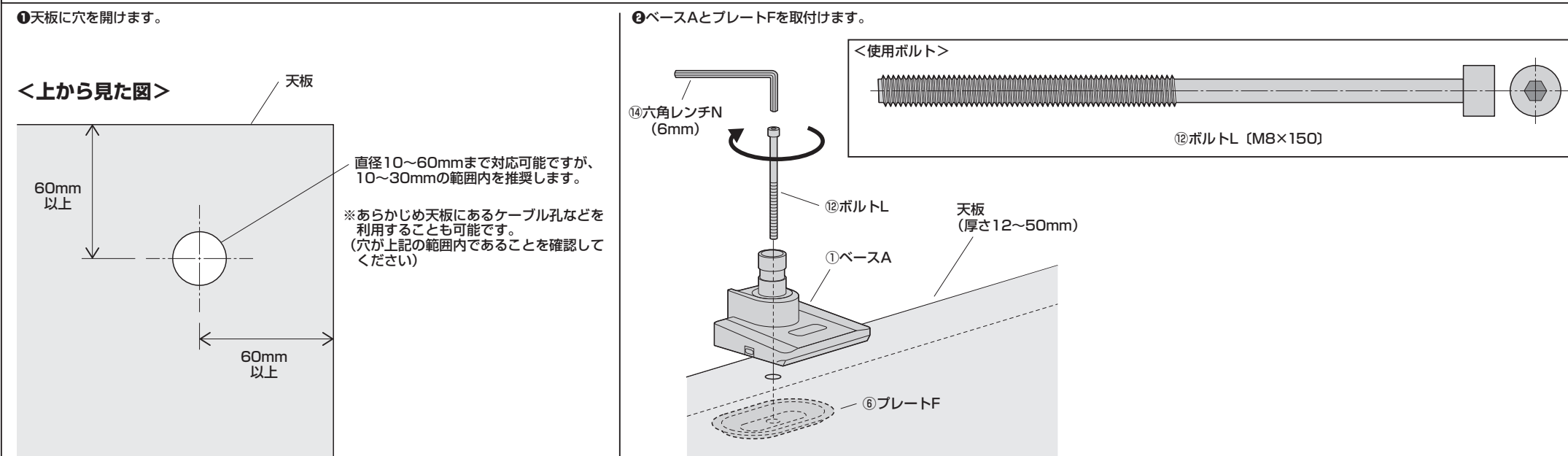
クランプ固定の場合

8. ケーブルを通して完成です。



グロメット固定の場合

1. 天板にベースAを取付けます。



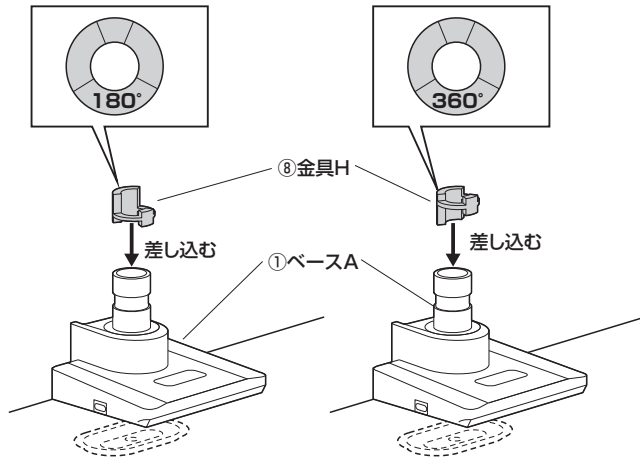
グロメット固定の場合

2. アーム C を取付けます。

①金具Hを差し込みます。

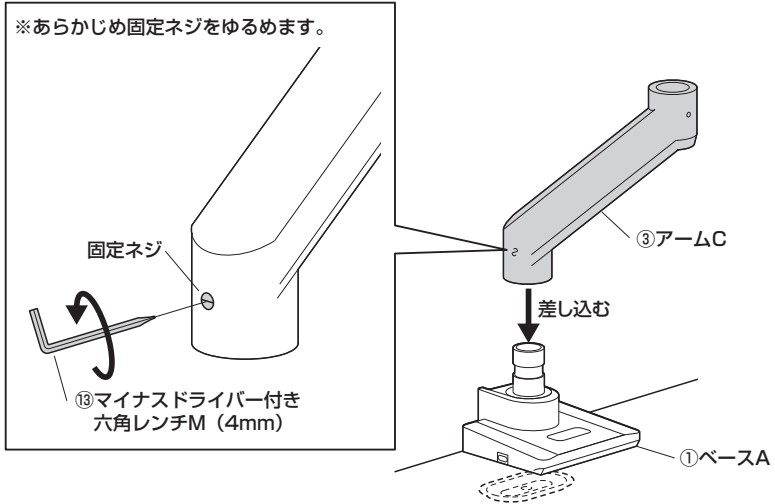
<可動範囲180°の場合>

<可動範囲360°の場合>

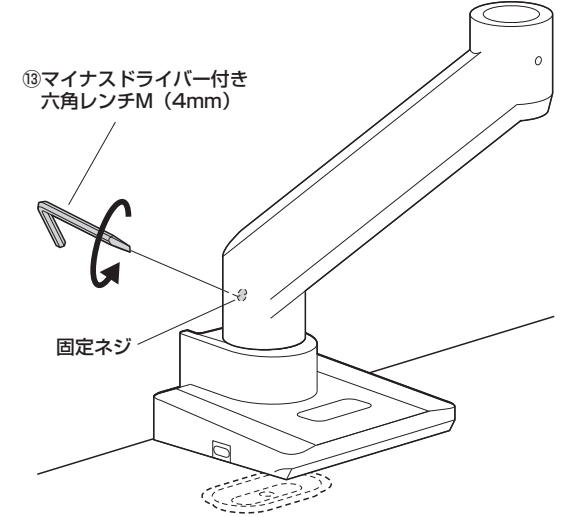


②アームCを差し込みます。

※あらかじめ固定ネジをゆるめます。



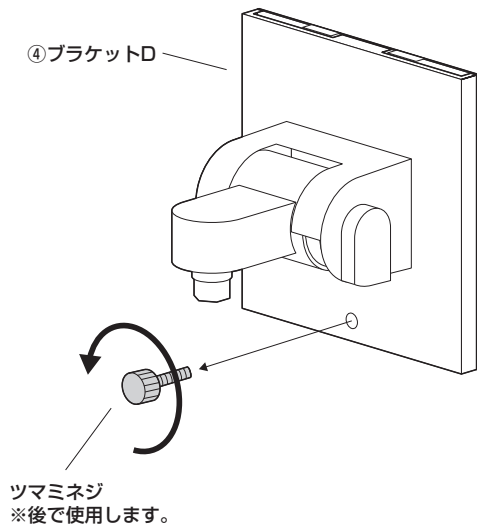
③固定ネジを締め付けます。



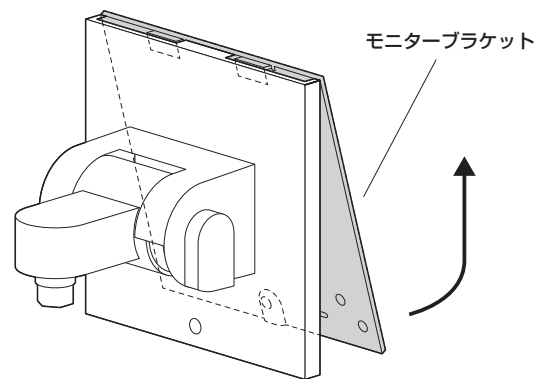
3. ブラケット D のモニターブラケットを取外します。

①ツマミネジを緩めて取外します。

④ブラケットD

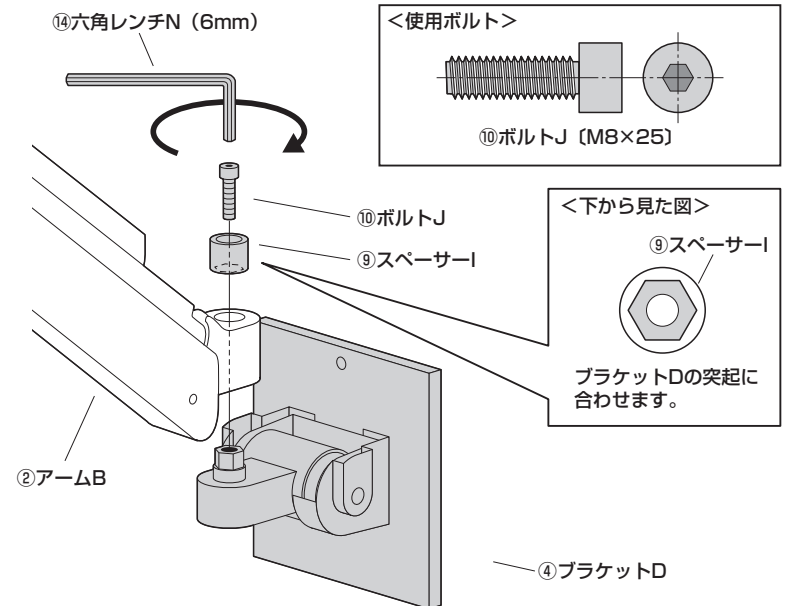


②モニターブラケットを取外します。



4. アーム B にブラケット D を取付けます。

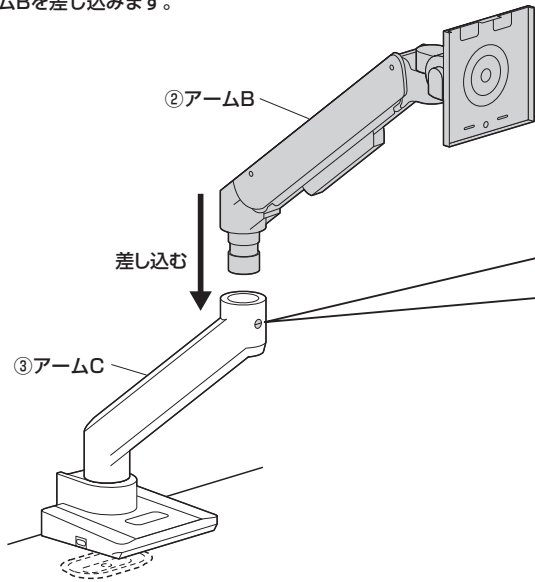
⑭六角レンチN (6mm)



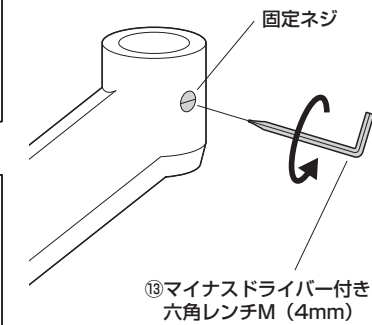
グロメット固定の場合

5. アーム C にアーム B を取付けます。

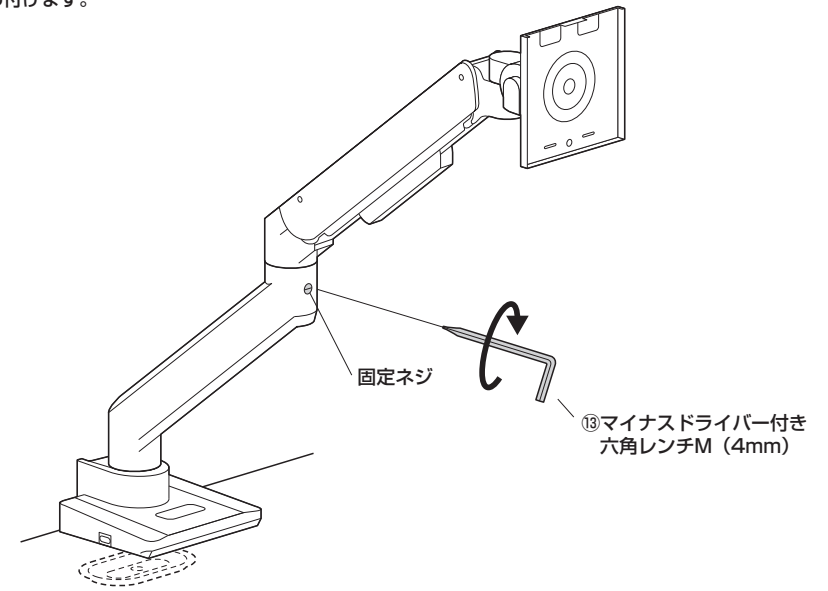
① アーム B を差し込みます。



※あらかじめ固定ネジをゆるめます。



② 固定ネジを締め付けます。



6. モニターにモニターブラケットを取付けます。

<注意>

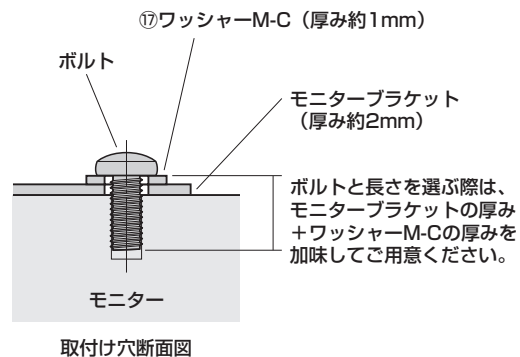
- ・毛布などを下に敷き、モニターへの傷や破損に十分ご注意ください。
- ・モニターに付属しているスタンド類は取外してください。スタンド類の取外し方法はモニターの取扱説明書をご参照ください。

<ボルトの太さ、長さに関する注意>

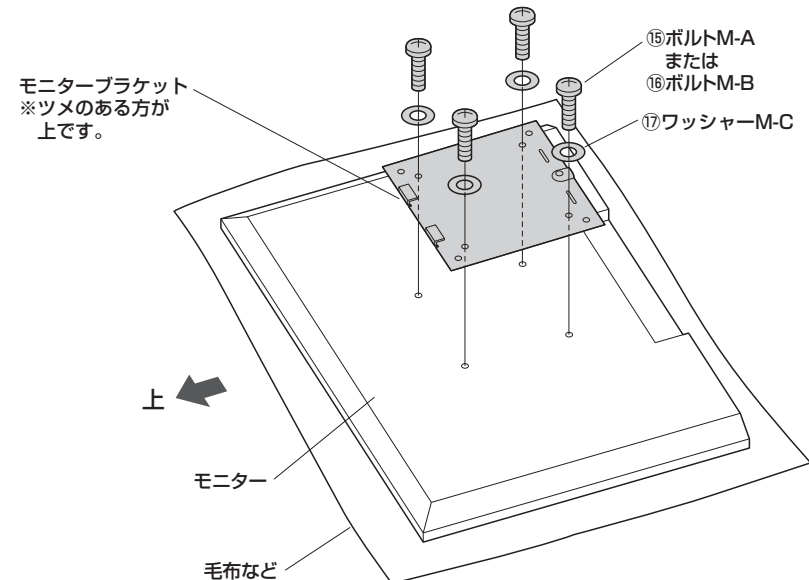
- ・ボルトが太すぎたり、長すぎたりするとモニターを破損する場合があります。また、ボルトが短すぎるとモニターがしっかりと固定できず脱落する恐れがあります。取付けに適したボルトの太さ、長さは各モニターによって異なります。必ずモニターの取扱説明書や、メーカーへの問い合わせなどでご確認の上、適切な太さ、長さのボルトを使用してください。
- ・付属のボルトが合わない場合は、強度に十分ご注意ください。市販の適切な太さ、長さのボルトをご用意ください。

ボルト選定時の注意

※付属のボルトが最後まで締まらない、またボルトが少ししか回っていないなど、ボルトが合わない場合は、強度に十分ご注意ください。市販の適切なサイズのボルトをご用意ください。



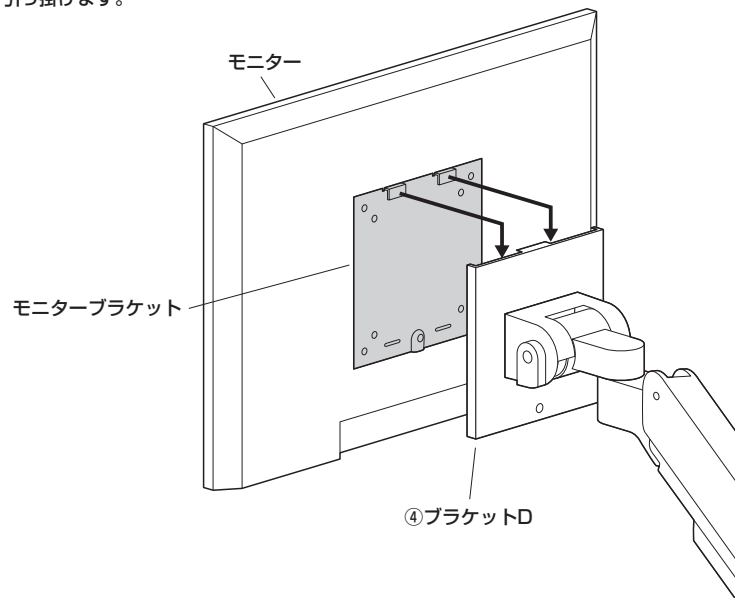
ボルトと長さを選ぶ際は、モニターブラケットの厚み + ワッシャー-M-Cの厚みを加味してご用意ください。



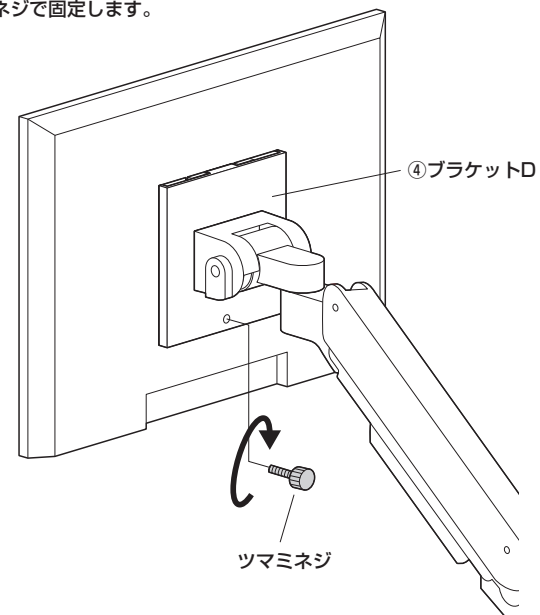
グロメット固定の場合

7. ブラケットDにモニターを取付けます。

①モニターを引っ掛けます。



②手順3で取り外したツマミネジで固定します。

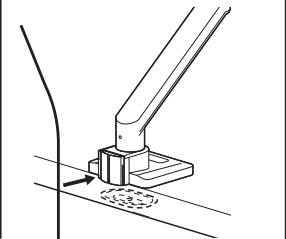
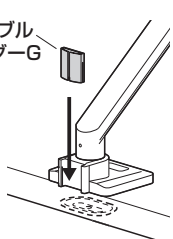


8. ケーブルを通して完成です。

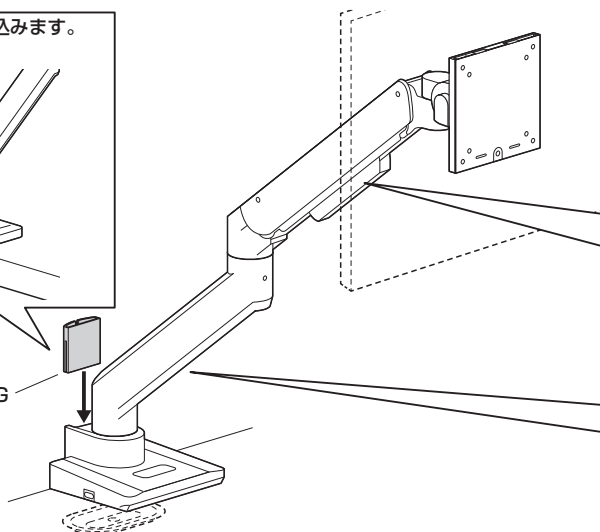
①ケーブルホルダーGを取付けます。

②ケーブルを押し込みます。

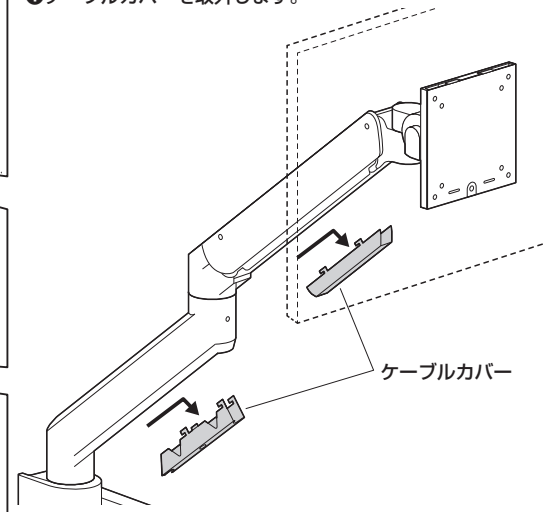
⑦ケーブルホルダーG



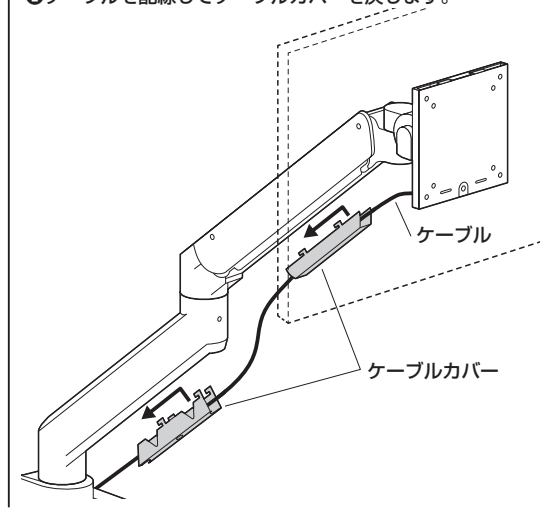
⑦ケーブルホルダーG



①ケーブルカバーを外します。



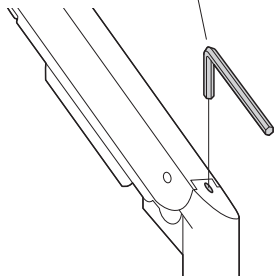
②ケーブルを配線してケーブルカバーを戻します。



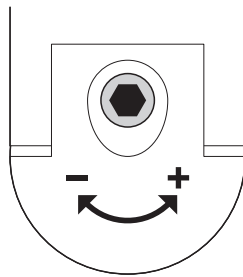
アームの保持力の調整方法

※取付けるモニターに合わせて
アームの保持力の調整ができます。

⑩六角レンチJ (6mm)

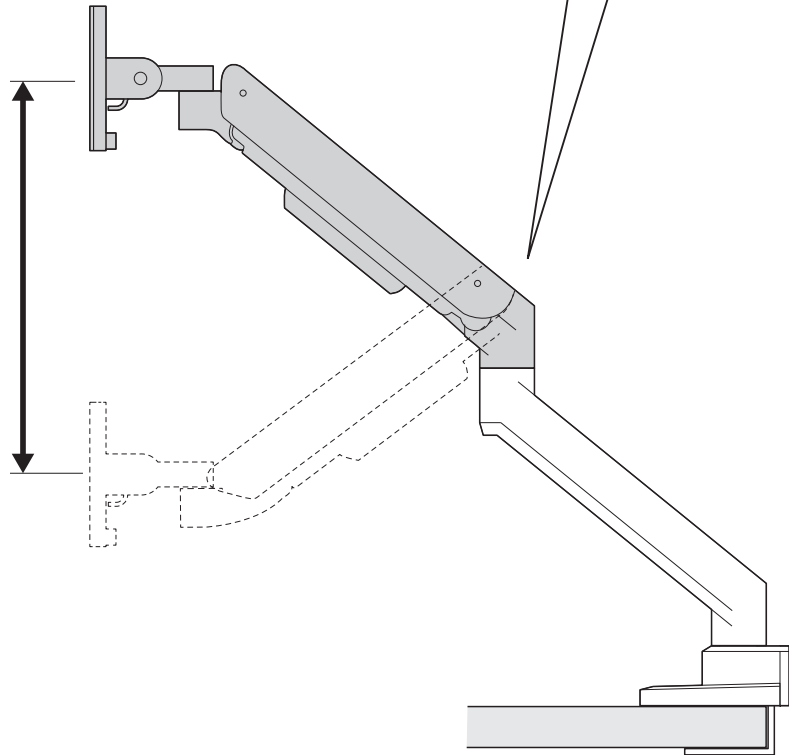


<上から見た図>



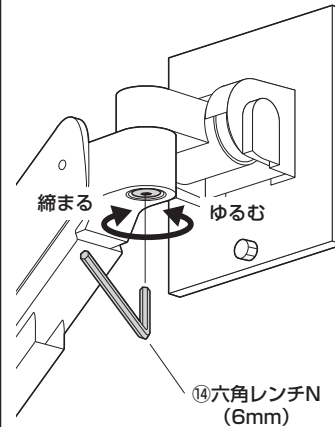
保持力が
弱くなる

保持力が
強くなる



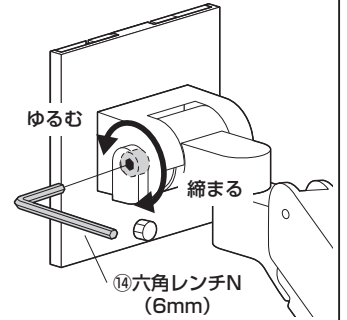
ブラケットの調節方法

ブラケットDの動きが軽すぎたり、
重すぎる場合は六角レンチN(6mm)で
ボルトを回して調節します。

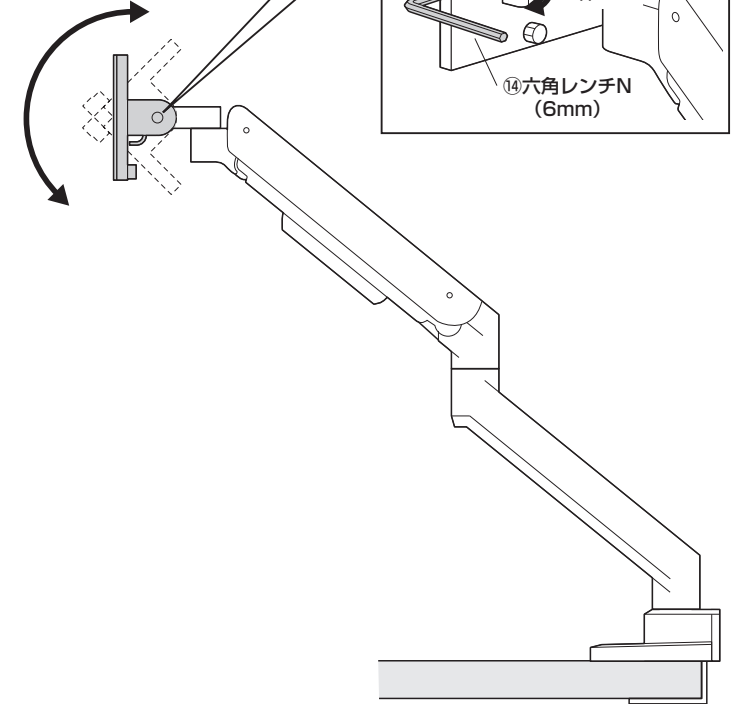
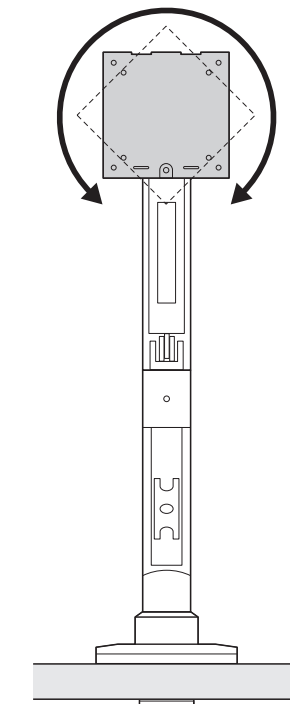


⑭六角レンチN
(6mm)

ブラケットDの動きが軽すぎたり、
重すぎる場合は六角レンチN(6mm)で
ボルトを回して調節します。



⑭六角レンチN
(6mm)



アームの可動範囲を変更する場合

①モニターを取外します。

②アームを取外します。

③金具Hを入れ替えます。

<可動範囲180°の場合> <可動範囲360°の場合>

⑧金具H

※変更後は逆の手順でアーム、モニターを取付けます。

安全の為に注意していただく点

- 落下する恐れがあるので、天板の外にモニターが出る状態での使用はさけてください。
- 可動部分で指などははさまないように注意してください。
- モニターの調整は必ず両手で行い、片手での使用はおやめください。

その他

- 耐荷重を超える機器は取付けしないでください。
- モニターは4本のボルトでしっかりと固定してください。
- 部品を取外さないでください。
- アーム部に物を置かないでください。
- 本製品を取付けた机を移動させないでください。
- 本製品を振動のある場所に設置しないでください。
- 用途以外で使用しないでください。
- 部品が外れたままで使用しないでください。
- ボルト・ネジ類がゆるんだまま使用しないでください。
- 本製品を分解・修理・加工・改造はしないでください。
- 本製品に強い振動や衝撃、無理な力を与えないでください。
- 本製品を高温・多湿となる場所や、ホコリや静電気、油煙の多い場所で使用・保管しないでください。
- 本製品を水などの液体で濡らさないでください。また、濡れた手で触れないでください。
- お子様には本製品や付属品を触れさせないでください。
- 本製品のお手入れをする場合には、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものは使用しないでください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた事故や直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。あらかじめご了承ください。

製品に関するお問い合わせ
 製品の品質管理には細心の注意をはらっていますが、万一、不都合な点や製品に関するお問い合わせなどございましたら、お買求めの販売店又は右記までお気軽にご相談下さい。

CD/AJ/RKDoc

山陽トランスポート有限会社
 店舗名: イーサプライ | <https://www.esupply.co.jp>
 岡山県倉敷市児島南町1861 TEL: 086-473-9152